

# 株式会社サンエー

(証券コード 2659)

## 2025年2月期 決算説明資料

商号	株式会社サンエー
創業	1950年1月5日
会社設立	1970年5月28日
資本金	37億円
代表者	代表取締役社長 豊田 沢、代表取締役専務 田崎 正仁
本社所在地	〒901-2733 沖縄県宜野湾市大山7丁目2番10号
事業内容	食料品と衣料品ならびに家電・日用雑貨等の住居関連用品の小売業
従業員数	1,819人 ※2025年2月末現在、当社から当社グループへの出向者を含む
連結子会社	(株)ローソン沖縄、(株)サンエー浦添西海岸開発、(株)サンエーパルコ

# 沿革



当社の前身は、創業者故折田喜作が1950年1月、沖縄県平良市（現：宮古島市）に創業した個人経営の雑貨店「オリタ商店」であります。

- 1970年5月 沖縄県那覇市安里に株式会社サンエーを設立（資本金50千ドル）
- 1970年7月 沖縄県那覇市安里に1号店「那覇店」を開店
- 1972年5月 本土復帰に伴う通貨の切換えにより、資本金は24,400千円となる
- 1977年6月 食品部門を開設
- 1982年9月 サンエー運輸株式会社（非連結子会社）を設立
- 1984年11月 「大山流通センター」を開設、DCを稼動
- 1985年5月 沖縄県宜野湾市大山に本社を移転
- 1985年6月 「生鮮加工センター」（現：「食品加工センター」）を開設
- 1985年11月 沖縄県浦添市に郊外型SC「マチナトショッピングセンター」（現：「マチナトシティ」）を開店
- 1989年9月 ニチリウ（日本流通産業株式会社）グループに加盟
- 1992年9月 食品加工センター内に食品工場を稼動
- 1995年4月 株式会社ダイイチ（現：株式会社エディオン）とFC契約を締結し、家電販売を開始
- 1998年10月 「サンエーカード」（ポイントカード）を導入
- 2000年9月 日本証券業協会に店頭登録
- 2002年1月 株式会社ジョイフルとFC契約を締結し、レストラン「ジョイフル」1号店（FC）を開店
- 2002年10月 「那覇メインプレイス」を開店
- 2005年2月 東京証券取引所市場第二部に上場
- 2005年7月 沖縄県宜野湾市にNSC1号店「大山シティ」を開店
- 2006年2月 東京証券取引所市場第一部に上場
- 2006年7月 ISO22000認証取得（食品加工センター）
- 2006年10月 ドラッグストア「マツモトキヨシ」1号店（FC）を開店
- 2009年12月 株式会社ローソンの合併会社「株式会社ローソン沖縄」（連結子会社）が運営を開始
- 2012年7月 「東急ハンズ（現：ハンズ）」1号店（FC）を開店
- 2013年8月 株式会社良品計画と「無印良品」ライセンスストア基本契約を締結し、同年10月に1号店を開店
- 2015年11月 「株式会社サンエー浦添西海岸開発」（連結子会社）を設立
- 2016年12月 株式会社パルコとの合併会社「株式会社サンエーパルコ」（連結子会社）を設立
- 2019年6月 「浦添西海岸PARCO CITY」を開店、「アカチャンホンポ」（パッケージライセンス）、「リトルマーメイド」（FC）の1号店を開店
- 2022年4月 東京証券取引所プライム市場へ移行

# 店舗の状況

※2025年2月末現在



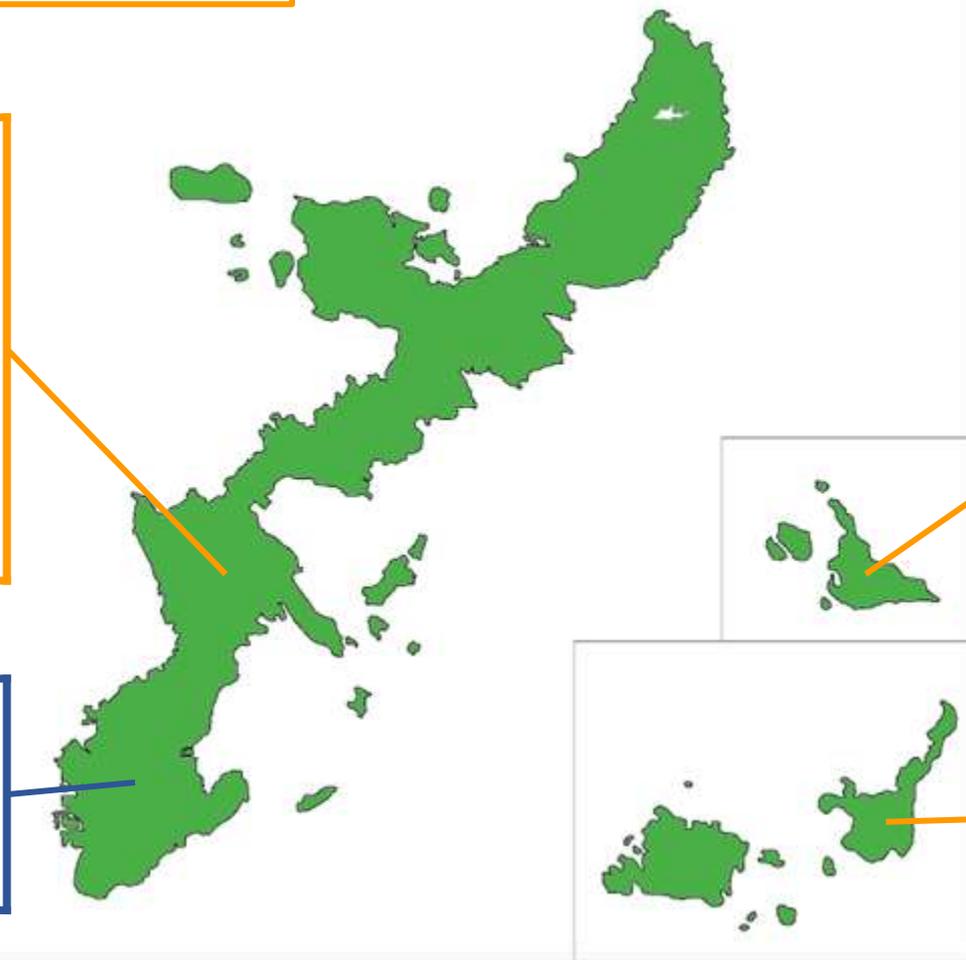
店舗数 合計 78店舗 (単体)

## 沖縄本島

総合店舗	:	21
衣料・住関連店舗	:	1
食品店舗	:	42
外食店舗	:	7
ドラッグストア	:	2

## 沖縄本島

コンビニ 直営店	:	1
FC店	:	262



## 宮古島

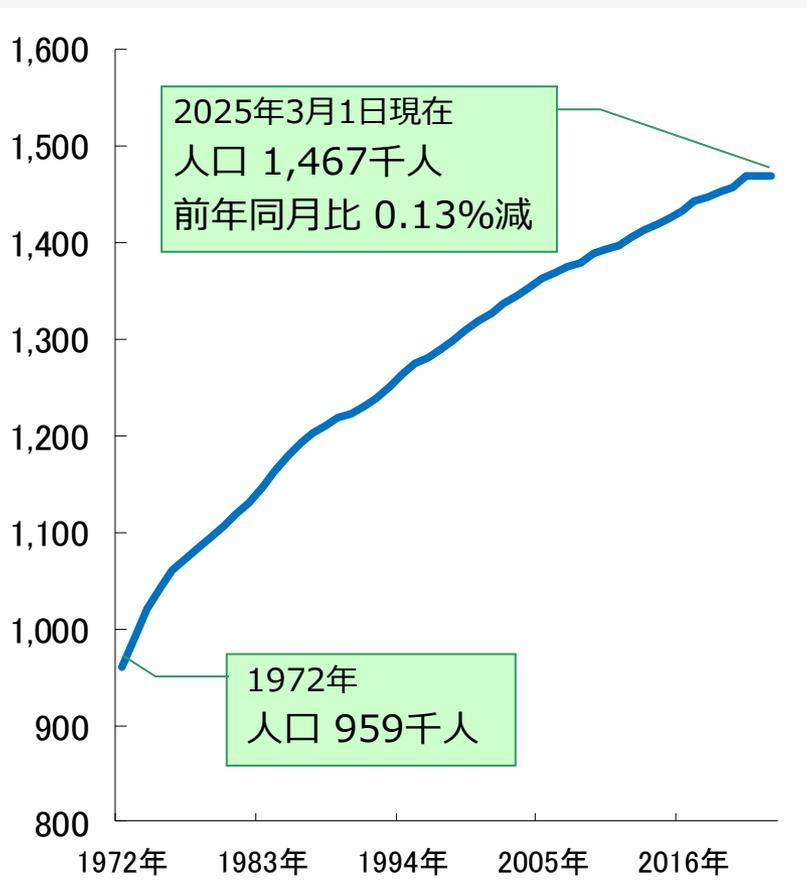
総合店舗	:	2
食品店舗	:	1
外食店舗	:	1

## 石垣島

総合店舗	:	1
------	---	---

## 沖縄県は全国一の出生率、若い層が多い

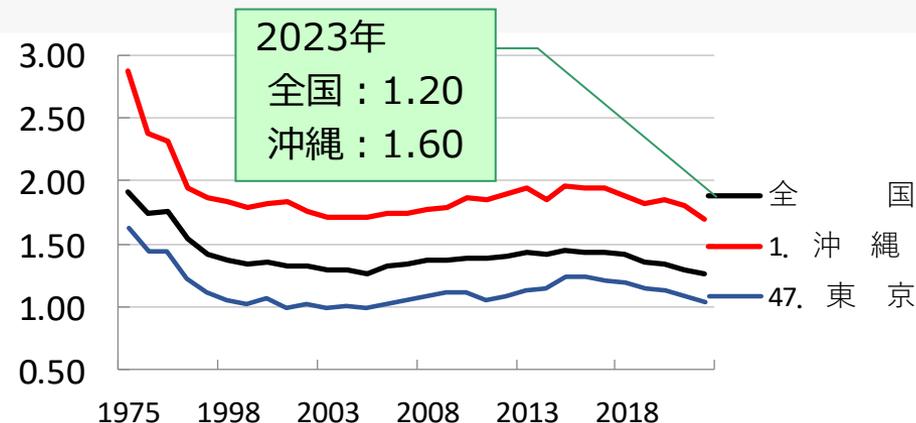
### 人口推移（1972年～2025年2月）



(出所：沖縄県企画部統計課「沖縄県推計人口」)

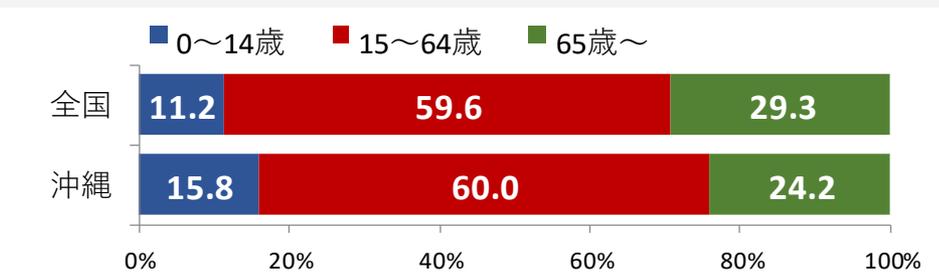
### 合計特殊出生率（1975年～2023年）

※合計特殊出生率：1人の女性が一生に産む子供の数の平均



(出所：厚生労働省「人口動態調査」)

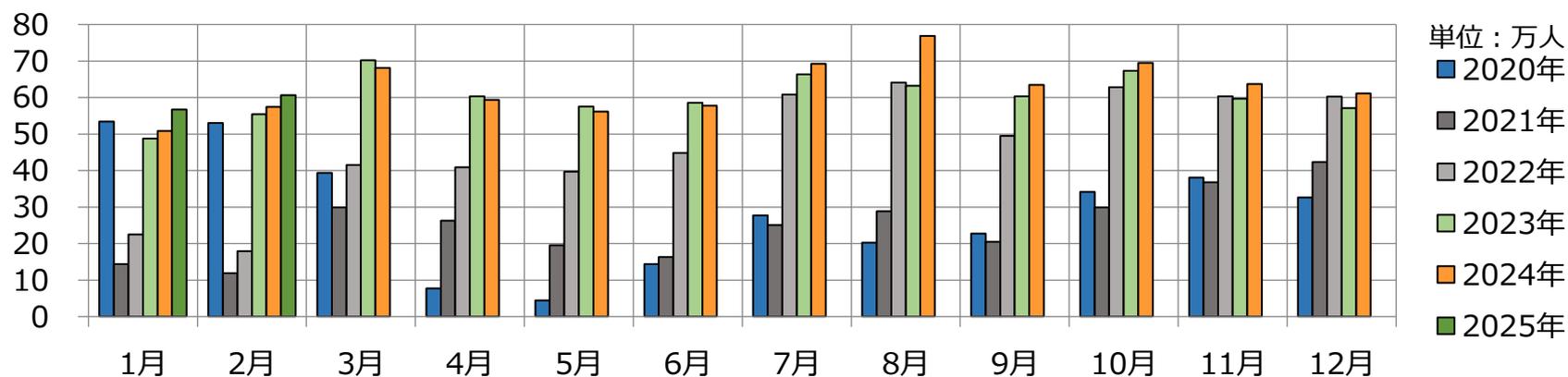
### 人口構成（2024年10月）



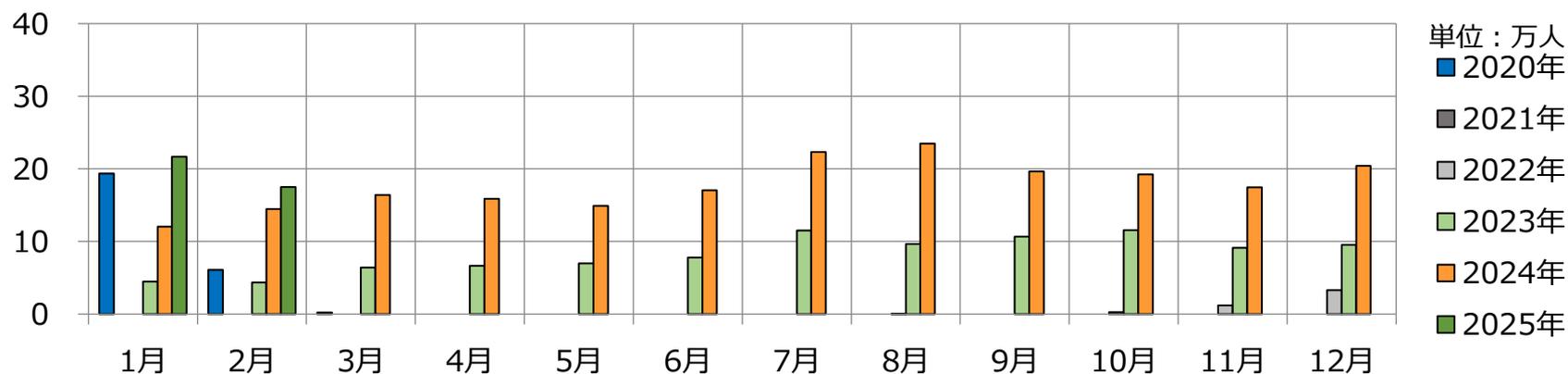
(出所：総務省統計局「都道府県、年齢3区分別人口の割合」)

## 観光客は、国内・海外合計で対前年同月比39ヶ月連続の増加

### 入域観光客数の月別推移（国内）



### 入域観光客数の月別推移（外国）

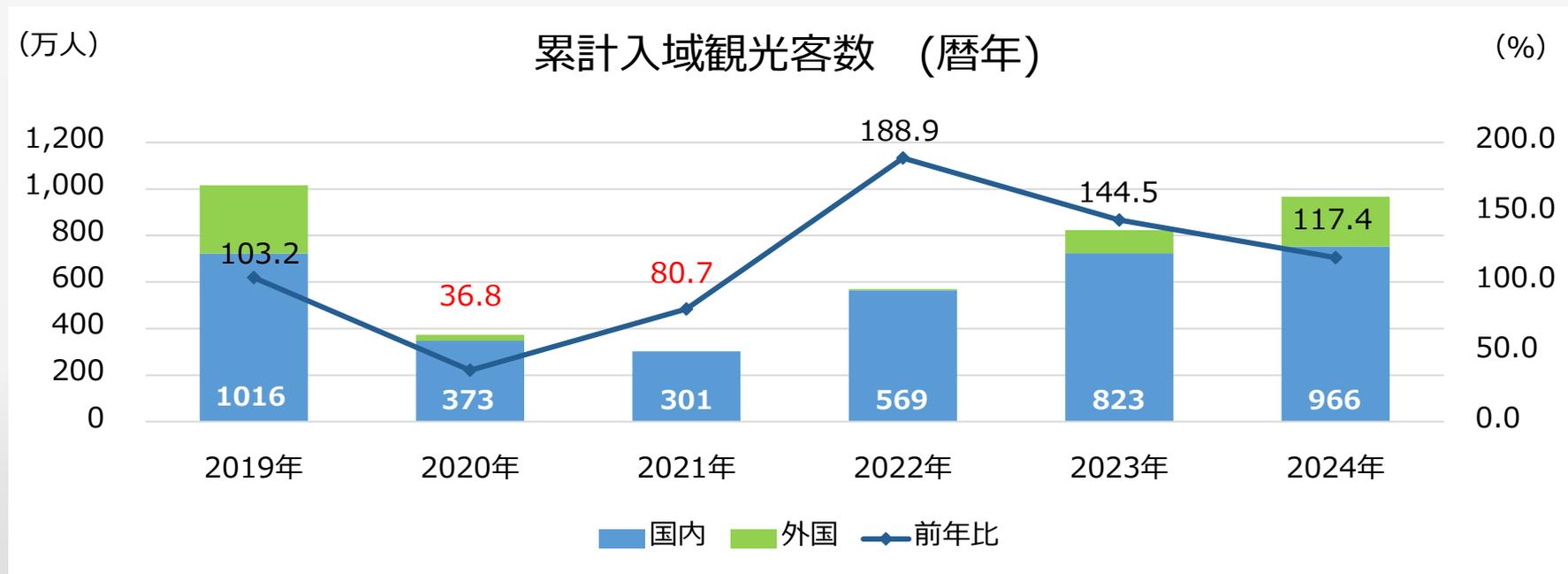


(出所：沖縄県観光政策課)

国内観光客…コロナ前を上回り、過去最高記録。

外国人観光客…航空路線、クルーズ船の寄港回数共に増加傾向。

	1-12月累計	前年比	2019年比
総数	966万人	117.4%	95.1%
国内	753万人	104.0%	104.2%
外国	213万人	216.2%	72.8%

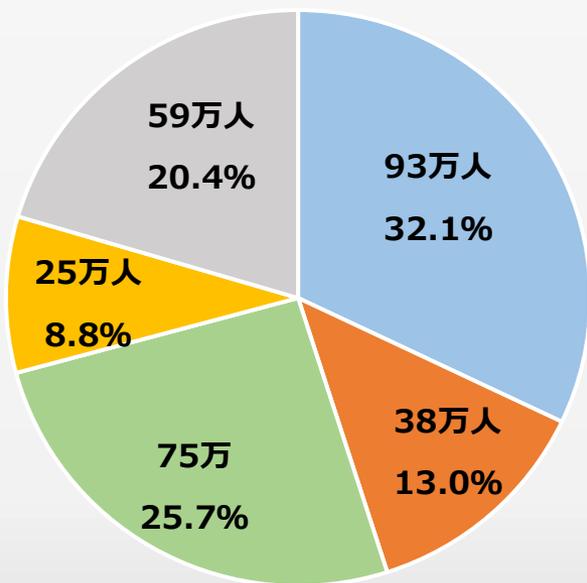


## インバウンドの国別推移（暦年）

### 国別の入域観光客数と構成比

■台湾 ■韓国 ■中国 ■香港 ■その他

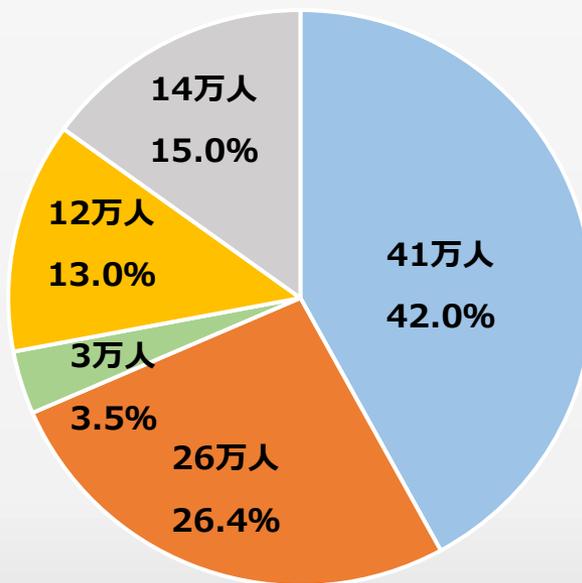
293万人



2019年

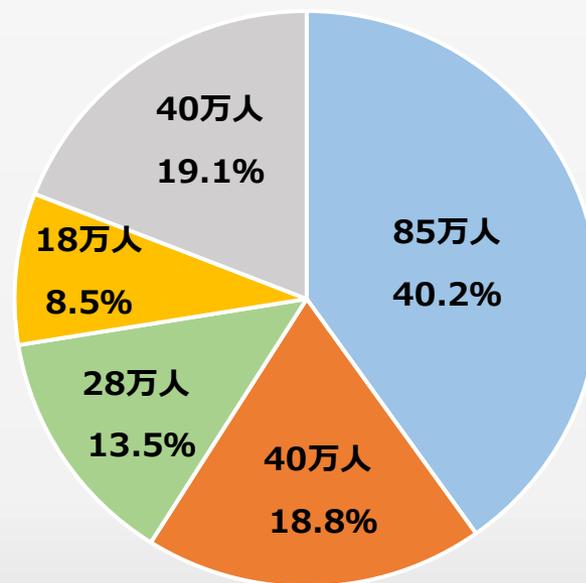
※コロナ禍前のピーク時

98万人



2023年

213万人



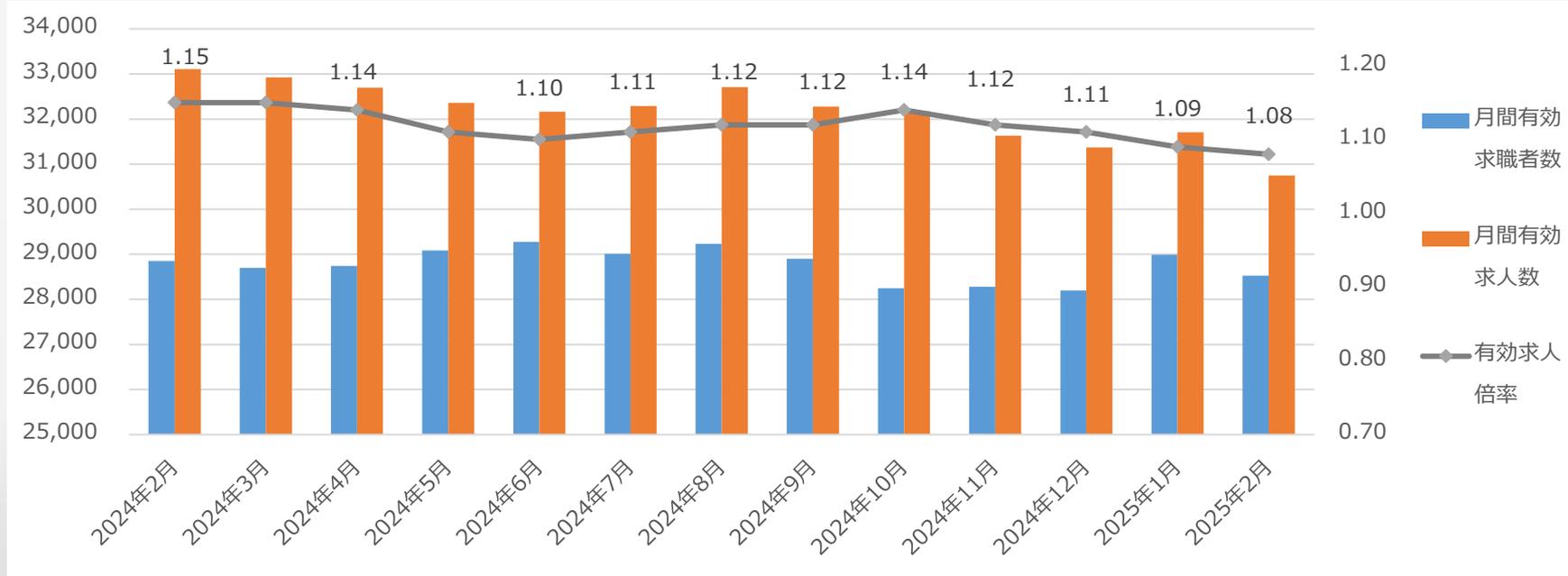
2024年

雇用環境は改善傾向だが、一部業界で人手不足感が続いている

	今月	前年同月	増減
完全失業率 (%)	2.3	3.0	△0.7
有効求人倍率 (倍)	1.08	1.15	△0.07
就業者数 (千人)	769	766	+3

※2025年2月現在

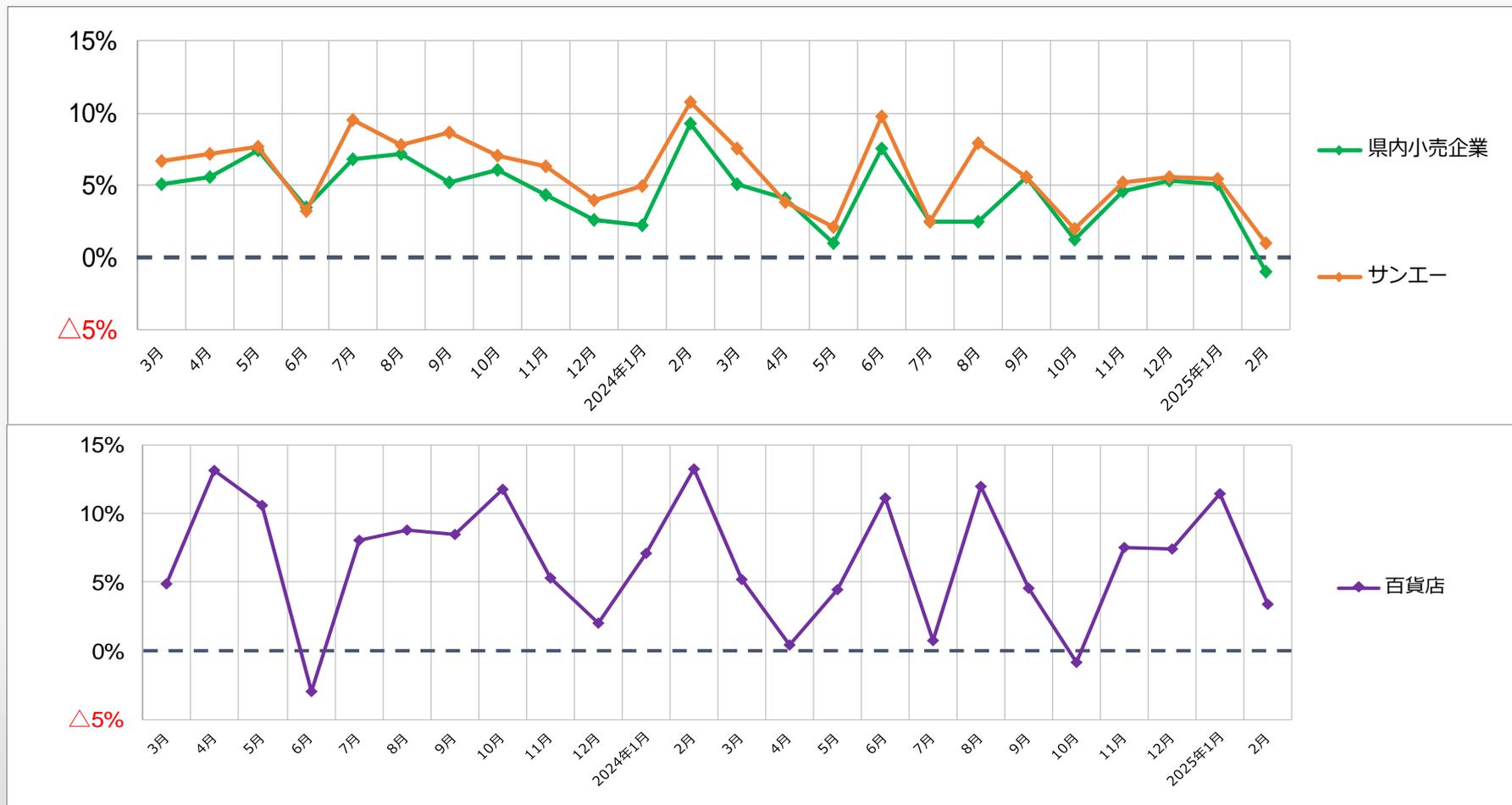
## 求職者数及び求人数、有効求人倍率の推移 (2024年2月～2025年2月)



(出所：沖縄県企画部統計課「労働力調査」、沖縄労働局「求人求職・労働市場の動き(就業地別)」)

## 1品単価の上昇に伴い、売上高は堅調に推移

沖縄県内主要小売企業の既存店売上高増減率推移（2023年3月～2025年2月）



※県内小売企業：サンエー除く（出所：(株)りゅうぎん総合研究所「県内の景気動向」）

# 2025年2月期決算概要



## 前期・予算比較（連結）

（単位：百万円・％）

	2025年2月期						2024年2月期	
	実績				予算		実績	
	金額	売上比	前年比	予算比	金額	売上比	金額	売上比
営業収益	237,156	-	104.2	100.4	236,120	-	227,581	-
売上高	218,592	-	104.0	100.1	218,385	-	210,190	-
売上総利益	69,241	31.7	103.8	99.9	69,328	31.7	66,723	31.7
営業収入	18,564	8.5	106.7	104.7	17,734	8.1	17,390	8.3
販管費	70,882	32.4	104.8	100.7	70,392	32.2	67,649	32.2
営業利益	16,923	7.7	102.8	101.5	16,670	7.6	16,464	7.8
経常利益	17,468	8.0	103.4	102.5	17,043	7.8	16,893	8.0
当期純利益※	11,469	5.2	107.4	102.5	11,185	5.1	10,683	5.1

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

# 2025年2月期決算概要



## 部門別売上高

(単位：百万円・%)

部門の名称		金額	構成比	総合 前年比	既存店 前年比
小売部門	衣料	33,048	14.7	106.9	107.6
	食品	149,246	66.4	103.1	103.5
	住関	32,428	14.4	109.2	109.3
	外食	9,708	4.3	107.0	107.0
	小計	224,431	99.9	104.6	104.9
CVS		295	0.1	78.7	100.2
売上高合計		224,726	100.0	104.6	104.9

※CVSは直営店舗の売上

※「収益認識に関する会計基準」等を適用しなかった場合の売上高及び前年比

※CVS：コンビニエンスストアの略称

# 今期売上高の推移



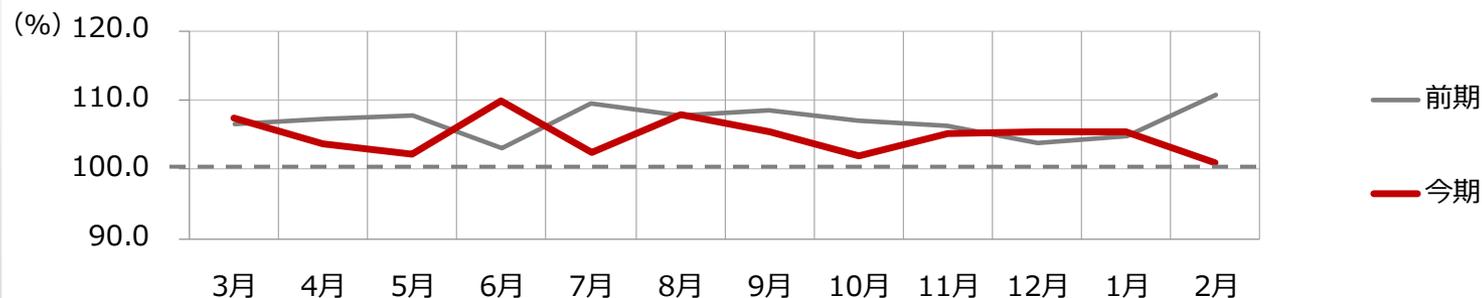
第55期 (自 2024年3月1日 ~ 至 2025年2月28日)

(%)

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	累計
全社	総合店	107.5	103.7	102.3	109.8	102.5	107.7	105.0	101.5	104.7	105.0	104.8	100.6	104.6
	既存店	107.5	103.8	102.1	109.8	102.5	107.9	105.5	101.9	105.2	105.5	105.4	101.0	104.9
衣料	総合店	104.5	104.5	103.6	111.2	107.2	121.4	103.6	103.1	105.2	109.0	106.0	103.9	106.9
	既存店	104.5	105.0	104.0	111.9	107.9	122.2	104.2	103.8	105.9	109.9	106.7	104.3	107.6
食品	総合店	106.2	101.8	100.4	108.8	100.2	103.4	105.8	100.4	103.4	103.3	104.3	99.4	103.1
	既存店	106.2	101.8	100.4	108.8	100.2	103.8	106.5	101.1	104.1	103.9	105.0	100.0	103.5
住関	総合店	116.6	111.0	109.7	112.1	107.9	117.3	102.6	104.2	109.3	109.5	105.4	102.4	109.2
	既存店	116.6	111.9	108.5	112.3	107.9	117.9	103.0	104.5	109.8	110.0	105.9	102.5	109.3
外食	総合店	108.4	105.7	104.0	112.5	105.1	112.2	105.4	104.2	109.2	105.6	107.6	104.0	107.0
	既存店	108.4	105.7	104.0	112.5	105.1	112.2	105.4	104.2	109.2	105.6	107.6	104.0	107.0

※「収益認識に関する会計基準」等を適用しなかった場合の売上高前年比

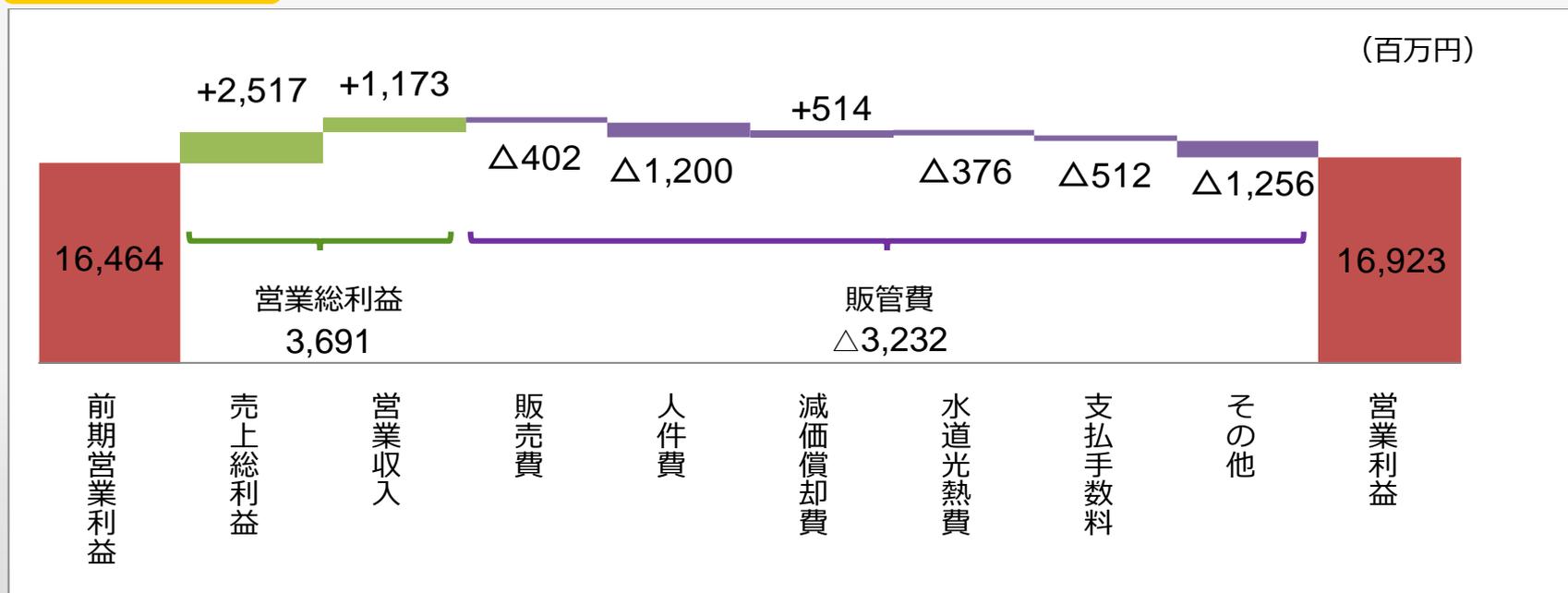
## 既存店売上高前年比の推移



## 連結営業利益：16,923百万円（前年比102.8%、459百万円増）

- ・売上総利益：売上高前年比 104.0%、粗利率31.7 %（前期31.7 %）
- ・免税売上前年比 206.6 %（2018年度比 77.0 %）
- ・インフレ下での継続的な物価高による単価上昇
- ・テナント、子会社（ローソン沖縄、サンエーパルコ）売上好調による営業収入増
- ・販売管理費：荷造り運賃の増加による販売費増、給与見直しによる人件費増

### 営業利益増減



# あるべき姿

「あるべき姿」を描きつつ、永続性のある企業体質とする。  
そのためには、企業成長や規模にあわせた人財育成と正しい仕組みづくりが重要である。

1. 企業理念（善の発想、自主独立）の浸透
2. 総合力、直営力（FC含む）の更なる強化
3. 合併企業との協業、シナジー効果を最大限活かす
4. 人財力、商品力、店舗力、仕組力、サービス力の強化
5. あるべき姿を描きつつ、次への成長に向けた組織作りを行う

# 2026年2月期計画



## 連結予想

(単位：百万円、%)

	2026年2月期			2025年2月期	
	金額	売上比	前年比	金額	売上比
営業収益	247,876	-	104.5	237,156	-
売上高	228,575	-	104.6	218,592	-
売上総利益	72,177	31.6	104.2	69,241	31.7
営業収入	19,301	8.4	104.0	18,564	8.5
販管費	74,251	32.5	104.8	70,882	32.4
営業利益	17,227	7.5	101.8	16,923	7.7
経常利益	17,796	7.8	101.9	17,468	8.0
特別損失 ※1	620	0.3	135.1	459	0.2
当期純利益 ※2	11,005	4.8	96.0	11,469	5.2
EBITDA ※3	24,308	10.6	102.9	23,627	10.8

※1：石垣シティ（旧館）及び大山シティ（新本社・食品加工センター予定地）の解体費用等による増加

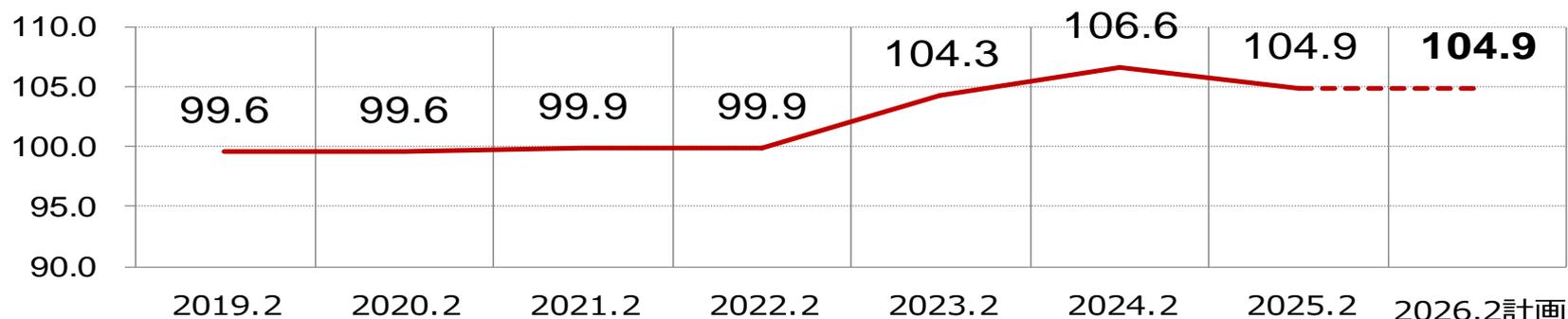
※2：親会社株主に帰属する当期純利益、※3：EBITDA＝営業利益＋減価償却費（定率法）

# 2026年2月期計画



## 既存店売上高前年比

	1Q	2Q*	3Q*	4Q	通期
既存店売上予想	105.5	102.3	107.7	104.5	104.9



※「収益認識に関する会計基準」等を適用しなかった場合の売上高前年比

## 連結業績予想

(単位：百万円、%)

	営業収益	営業利益*	経常利益*	当期純利益
第2四半期累計 (増減率)	124,495 (3.2)	9,030 (△1.5)	9,359 (△0.8)	6,060 ( 2.1)
通期 (増減率)	247,876 (4.5)	17,227 ( 1.8)	17,796 ( 1.9)	11,005 (△4.0)

※沖縄の旧盆は旧暦に基づくため月ズレを考慮：今期9月4日～6日（前期8月16日～18日）

→2026年2月期 第2四半期累計は減益予想

# 2026年2月期計画



## 営業利益予想：17,227百万円（前年比101.8%、304百万円増）

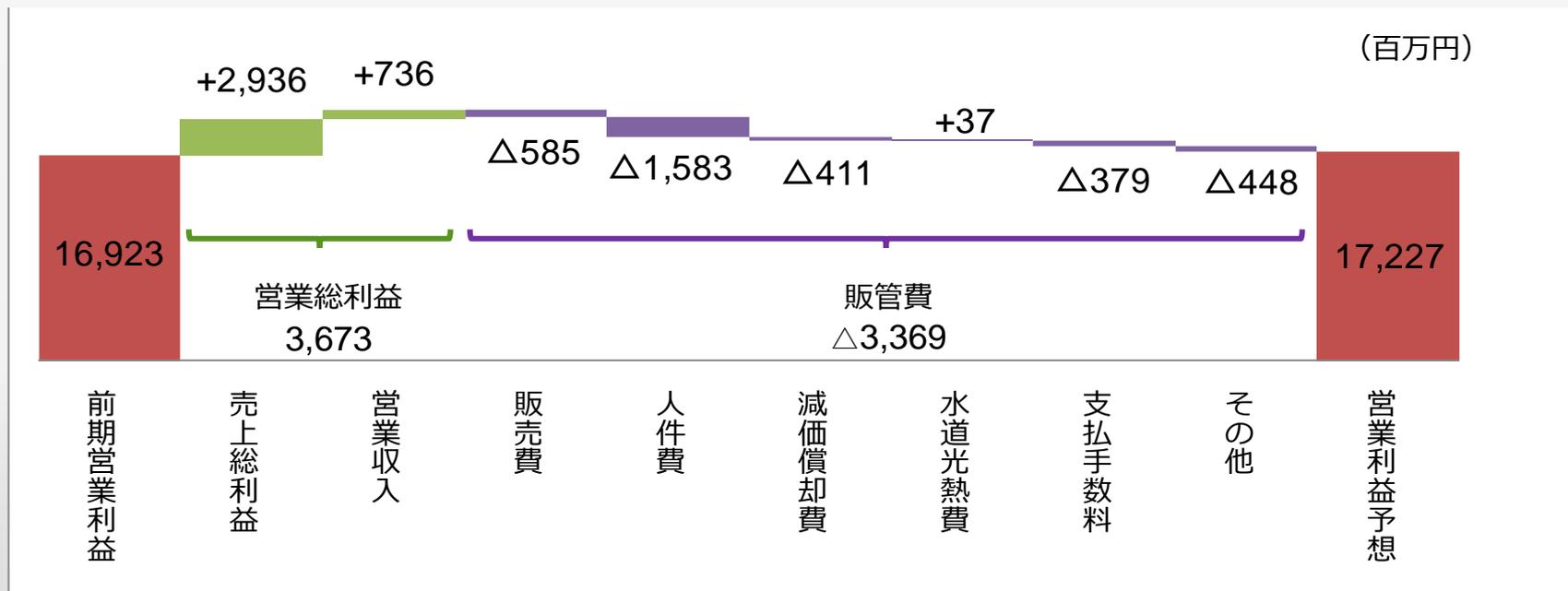
売上総利益：売上高104.6%、粗利率31.6%（前期31.7%）

販売費：物流費の増加

人件費：定期昇給、ベア、最低時給引上げ等

減価償却費：新店、大型店改装、DX投資等

### 営業利益増減予想



# 当社の主な取組み

## 成長戦略の柱：既存店リニューアルによる収益力向上

設備更新と店装、品揃えの適正化で、お客様の利便性と店舗力の向上を目的に実施

### ■ 6店舗をリニューアル（大型1、中型1、小型4）

- ・ LED照明切替
- ・ タイル張替
- ・ サイネージの追加



- ・ 通路幅の確保
- ・ ニーズへの対応強化



# 当社の主な取組み

## 独自性に特化した売場展開

- 成城石井、無印良品、ローソンオリジナル商品の取り扱い
- 食品売場に展開し、独自性のある品揃えに貢献



# 当社の主な取組み

## DXの強化で仕組力の向上

- 電子棚札の導入…2025年2月期 10店舗に導入、2026年2月期 20店舗に導入予定
- フルセルフレジの導入…2025年2月期 24店舗に導入、2026年2月期 20店舗に導入予定
- 配膳ロボの導入



# 当社の主な取組み

## サステナビリティの推進

- 2024年7月に当社HPにて、サステナビリティ専用サイトの公開
- V21食品館牧港店「Nearly ZEB」の認証取得  
※今後も対象店舗拡大予定
- 既存店リニューアル時に、省エネ設備への更新

当社サステナビリティサイト



幸せを共感する  
企業を目指して



Policy  
サステナビリティ方針・重要課題

当社のサステナビリティ方針、推進体制、重要課題と主な取組等を掲載しております。



ESG Data  
ESGデータ

「環境」「社会」「ガバナンス」に関する過去3年分の実績を掲載しております。

# 当社の主な取組み

## 新店オープン、大型店の新館建替

- 新店：サンエー銘苅店、2026年冬オープン予定  
食品館とドラッグストアの複合店
- 建替：石垣シティ建替、2025年夏に新館オープン予定  
秋頃に旧館取り壊し後、グランドオープン予定



サンエー銘苅店のイメージパース



石垣シティ旧館取り壊し後のイメージパース

# 当社の主な取組み

## マチナトシティ(総合店舗)の閉店…オープンより40年

- 1985年：店名「マチナトショッピングセンター」の開業  
※沖縄初の郊外型ショッピングセンター
- 1997年：増床により売場拡大し、電器館、直営外食（和風亭）のオープン
- 2013年：GU(県内初出店)、他テナント入居、駐車場の拡大等の大型改装を行い、店名を「マチナトシティ」に変更
- 2025年：近隣店舗（パルコシティ、経塚シティ）への統合をもって10月に閉店



オープン当時  
SAN-A.CO.,LTD



増床後



現在

# 当社の主な取組み

## 「本社・食品加工センター」の新築移転計画

### ■ 本計画の目的

- ・ 事業拡大を見据えたセンター機能の強化

#### ① 商品力の向上

お客様満足度を高める商品の提供

#### ② 仕組力の向上

社員の労働環境の整備、生産性向上

### ■ 現状

- ・ 2024年夏に「大山シティ」を閉店  
現在取り壊し工事進行中



大山シティ取り壊し工事の進捗

# 当社の主な取組み

**新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い集合研修を再開する等、人財教育を強化**

- 店長研修、新任経営職研修で同一店舗を視察し、共通のベンチマークの確立
- 事業部研修で産地や取引先へ訪問し、商品への理解を深め売上拡大を図る
- 研修に年間のべ5,192名が参加（パートナー社員、アルバイト含む）  
うち県外研修に年間のべ479名が参加



食品事業部研修：JAかとり様（さつまいも）



新任経営職研修

# 当社の主な取組み

## くらしモア30周年

- 全国の有力チェーンストア16社と生活協同組合3協からなる、「ニチリウグループ」のプライベートブランド「くらしモア」
- 全店で売場作りを強化しPBシェア拡大を図る



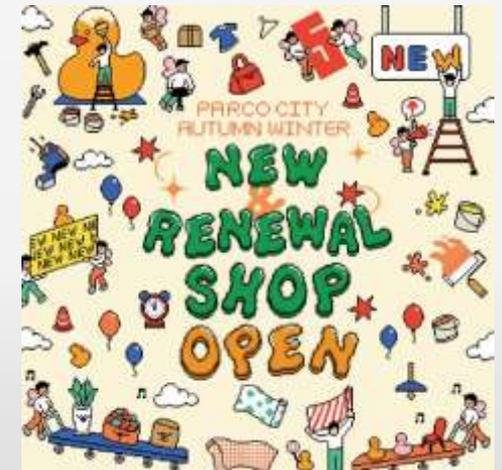
# サンエーパルコ（連結子会社）

## 開業5周年の節目を迎え、改装及び周年イベントを実施

- 26区画（1,634坪）の入替改装を実施 ※対象区画の売上前年比約3倍
- 大型店集積によるワンストップ性の向上と集客力のアップ  
「ABC-MART GRANDSTAGE/OSHMAN'S」他
- 沖縄県内初出店、ブランドラインナップの充実による商圈広域化  
「POLO RALPH LAUREN」（海外アパレル）、「極味や」（飲食）  
「ALBION DRESSOR」（化粧品）



浦添西海岸PARCO CITY（外観）



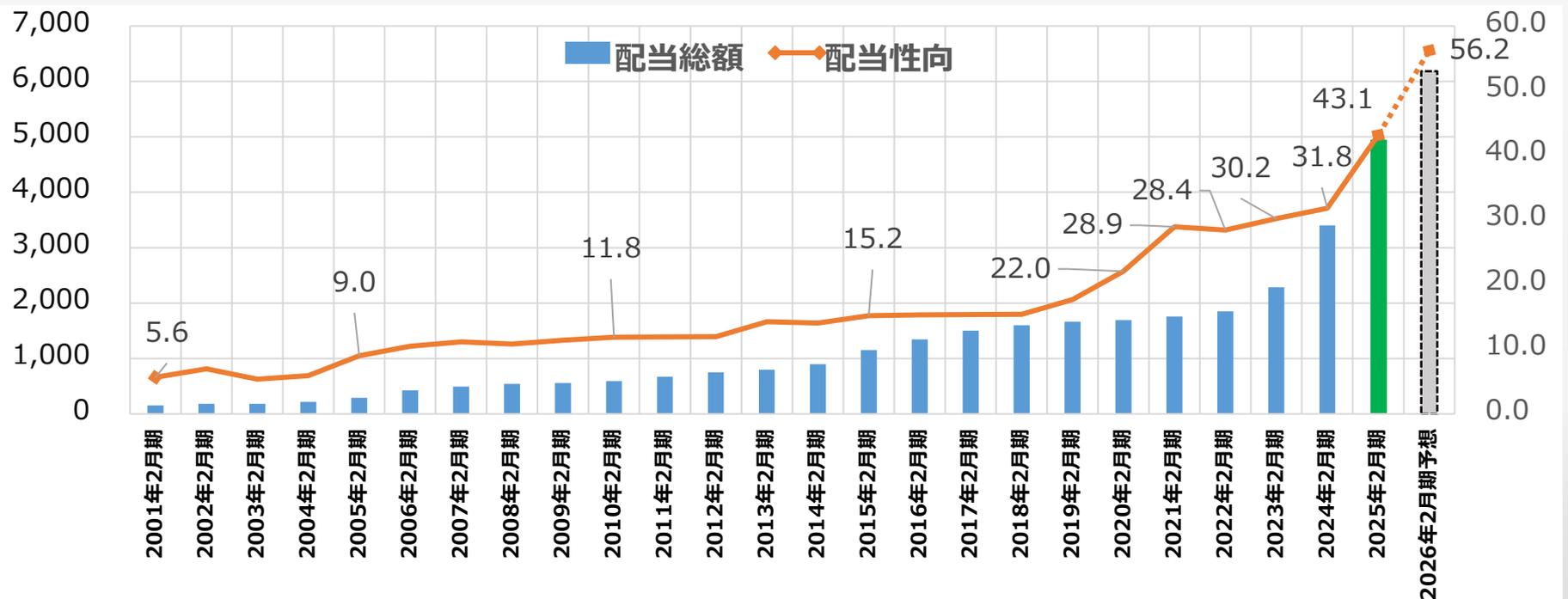
# 2026年2月期配当予想について

- 今回、上場以来初めて期初に配当予想を引上げ
- DOE 5%以上を目安とする方針は現状変更なし
- 配当予想は今後の運営コスト及び投資コストの上昇の懸念から慎重に決定

## 配当性向と配当総額の推移

(百万円)

(%)



# 添付資料

フランチャイズ事業 (2025年2月末現在)

12社とFC契約、1社とパッケージライセンス契約を締結 合計106店舗を展開

ショップ名	店舗数
マツモトキヨシ	30
エディオン	14
ジョイフル (外食)	13
大阪王将 (外食)	10
無印良品	9
リトルマーメイド (ベーカリー)	6
ハンズ・ハンズビー	5
ピッツェリアマリノ (外食)	5
パレットプラザ (DPE)	4
タリーズコーヒー (外食)	4
チュチュアンナ (靴下・インナー)	3
ハンズカフェ (外食)	1
スープストックトーキョー (外食) <b>NEW</b>	-
アカチャンホンポ (ベビー) ※パッケージライセンス契約	2



マツモトキヨシ



エディオン



無印良品



ハンズ



リトルマーメイド



大阪王将

## 沖縄県企業売上ランキング（2023年度）

（単位：百万円、％）

	上場	会社名	売上高	業種	前年比
1	○	沖縄電力	225,609	電気	5.7
2	○	サンエー	218,582	スーパー	6.2
3		イオン琉球	99,711	スーパー	8.3
4		りゅうせき	86,379	石油類卸売	△0.6
5		沖縄ファミリーマート	80,574	コンビニエンスストア経営	6.3
6	○	沖縄セルラー電話	74,140	携帯電話サービス	0.9
7		金秀商事	62,996	スーパー	4.3
8		沖縄トヨタ自動車	51,976	自動車小売	23.3

（出所：東京商工リサーチ沖縄支店調べ〔銀行等金融機関、損保は除く〕）

# お問い合わせ先



## IRサイト

<https://www.san-a.co.jp/ir/>

### <お問い合わせ先>

株式会社サンエー 経営企画部

TEL : 098(898)2237

FAX : 098(897)2533

本資料は、2025年2月期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は一部を除き2025年2月末現在のデータに基づいて作成しております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、安全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更させていただくことがあります。